

舞鶴若狭自動車道の整備効果

関西圏、中京圏、北陸圏を結ぶ広域ネットワークの構築



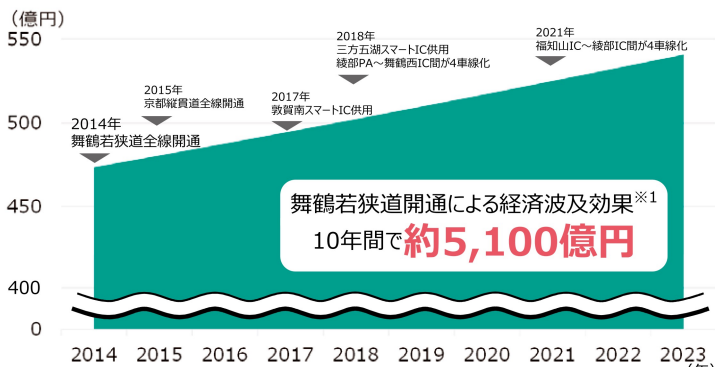
- 若狭湾沿岸地域が一体となり、府県を越えた交流の活性化が図られます。
- 中国自動車道、名神高速道路、北陸自動車道と一体となり、関西圏、中京圏、北陸圏の広域ネットワークを形成します。
- 日本海国土軸の一翼を担い、東西交通の円滑化を促進し、若狭湾沿岸地域の経済発展に大きく貢献します。
- 令和6年3月に北陸新幹線が敦賀まで延伸されたことにより交流人口が増加しており、二次アクセス交通手段としての需要も高まっています。

◆関西圏（兵庫）と北陸圏を結ぶ最短ルート

吉川～敦賀間において、舞鶴若狭自動車道を経由した場合、**約33km短縮**



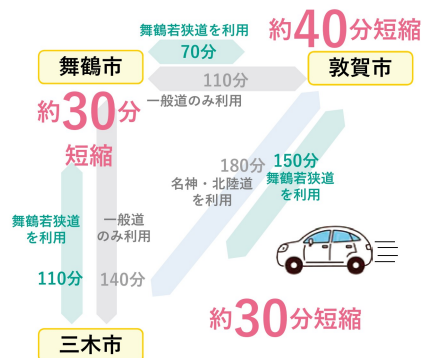
開通後10年間の経済波及効果



出典：NEXCO中国・西日本 舞鶴若狭道整備効果資料（2024.7）

- ※1 経済波及効果とは、生産額変化額を指す
- ※ 道路整備による地域間の所要時間の短縮などによる企業の生産性向上などの経済活動の関係をモデル化し、道路整備あり・なしの場合の差を算出
- ※ 空間的応用一般均衡（Spatial Computable General Equilibrium）モデルと呼ばれる地域間の道路整備が交易を活性化させることで生じるマクロ経済的な効果を計測することを目的に開発されたモデルを使用し、金沢大学寒河江教授監修のもと本資料を作成
- ※ 民間企業資本ストックの2015年比を乗じることによって10年間の生産額を算出

移動時間の短縮



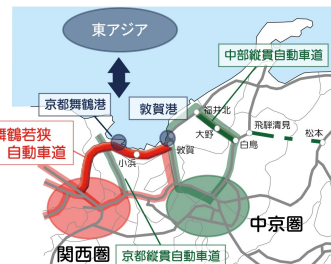
出典：NITAS及びETC2.0プローブデータ（2023年3月）を用いて算出
三木市役所、舞鶴市役所、敦賀市役所間の平均所要時間

物流ネットワークの強化

舞鶴若狭自動車道、京都縦貫自動車道および中部縦貫自動車道の全線開通により、関西圏、中京圏との物流ネットワークが強化され、福井県嶺南地域および京都府北部地域の産業振興に寄与します。

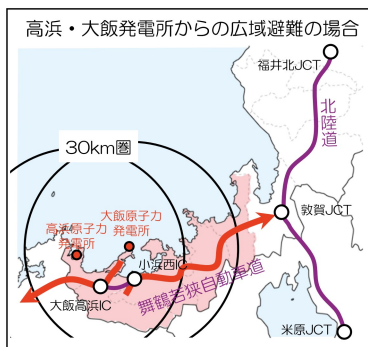


敦賀港(敦賀市)



原子力災害時の広域避難ルート

「福井県広域避難計画要綱」や、京都府の「原子力災害に係る広域避難要領」では、万が一の原子力災害が発生した直後から、30km圏外への避難先、ルート、輸送手段等が定められています。広域避難ルートに指定されている舞鶴若狭自動車道を事前の防災・減災対策として4車線化することで、さらなる広域避難の円滑化と早急な事故制圧が期待できます。



災害時における代替ルートの確保

災害時における代替ルートとして機能することで、道路交通の信頼性向上に寄与します。

平成30年6月の大阪北部地震の際、舞鶴若狭道が名神高速道路等の代替ルートとして機能しました。

